



第2回

定例会概要

平成29年度第2回定例会は、6月13日から26日まで開催されました。市政功労表彰をはじめ農業委員会委員の任命、補正予算など議案18件、諮問3件、報告2件について説明を受け、それぞれ本会議や委員会で審議を行いました。19日・20日の2日間、8人の議員が登壇し、一般質問を行いました。

■議案内容は…

農業委員会委員9名の任命及び固定資産評価審査委員会委員1名の選任に、それぞれ同意しました。また、胆振支庁管内公平委員会を共同設置する西胆振消防組合の名称変更に伴う、規約の変更について原案可決し、「西胆振消防組合」を「西胆振行政事務組合」に改めました。他の議案はそれぞれの委員会に下記のとおり付託し、全て原案可決しました。

◎総務文教常任委員会への付託案件

- 胆振支庁管内公平委員会規約の変更について
- 伊達市過疎地域自立促進基金条例
- 伊達市職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例
- 伊達市長等の給与に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例

◎産業民生常任委員会への付託案件

- 公の施設に係る指定管理者の指定について(大滝サービスステーション)

◎予算決算常任委員会への付託案件

- 平成29年度伊達市一般会計補正予算





一般質問

第2回定例会▶6月19日(月)・6月20日(火)

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

答弁▼本年10月3日有珠山周辺一市三町と関係機関で構成する「有珠山火山防災協議会」において、

質問▼防災・災害時の対応について問う。

答弁▼免許外指導がなくなる。小学校課程においても英語教諭による授業が可能になる等のメリットが考えられる。デメリットについては現時点では考えられない。

質問▼義務教育学校のメリット、デメリットについて問う。

答弁▼小学校課程から中学校課程までを一貫して行う義務教育学校について平成31年度スタートを目指し、現在の大滝小学校を改修して整備する予定。

質問▼大滝区内の小中学校教育について問う。

災害時の対応マニュアルについても必要であると考えるので、過去の災害、特に昨年8月の台風災害の経験を活かしたものを作成していく。

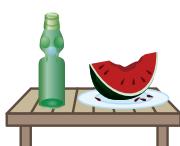


市役所から有珠山を望む



自民クラブ

阿戸孝之





新政クラブ
田 中 秀 幸



無会派
吉野英雄



質問▼指導主事配置後の取り組みについて問う。

答弁▼次期学習指導要領の実施に向けた各種研修会の開催、学校を訪問し、学校経営や授業改善等に関する指導助言などを通して、教職員の資質や能力の向上を図る。

質問▼第六次総合計画の分野別政策の進捗状況について問う。

答弁▼福祉・市民生活と自治は達成済。産業と都市基盤・生活環境は95%、教育・生涯学習は94%の達成状況。

答弁▼本事務事業の効率や効果の推進、職員の目的達成意識やコスト意識などが醸成され、政策形成能力の向上につながっている。



第六次総合計画と事務事業評価

質問▼第七次総合計画策定について問う。

答弁▼8月に開催予定のシンポジウムを皮切りに住民、団体との懇談会や公募委員による「みらい會議」からの提案を踏まえ、素案を作成。次期計画は、施設の有効活用などソフト事業に重点を置く。

質問▼介護保険制度において生活支援体制整備協議会で出た課題と今後のスケジュールを問う。

答弁▼団体間の連携、高齢化による担い手の確保などが課題である。連合自治会単位の地域課題解決に向けた座談会を8月ごろから設ける。

質問▼学校給食について内閣府の経済財政諮問会議が子育て支援の拡充として無料化を打ち出したが市の考え方を問う。

答弁▼国の働き方支援、子育て支援として提案されたと承知している。

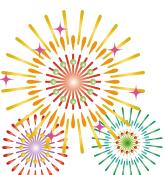
質問▼国民健康保険の都道府県単位化に伴い賦課方式の見直しを検討すべきではないか。考えを問う。



生活支援体制整備を話し合う協議体



公明党
渡辺雅子



青雲
小久保重孝



質問▼少子化対策について女性が安心して結婚、出産、子育てが行えるよう、マタニティブルーや産後うつ、乳幼児健診の取り組みや関わりについて、保健師の重要性を問う。



すべての方の健康を守る保健センター

答弁▼本市の合計特殊出生率は1.40である。北海道は全国ワースト1位となっている。出生率を高めるためには、生まれてくる子供も大事、子供を育んでいくためにはその母親のケアと安心できる環境づくりも大事である。

マタニティブルーの方へは、出産後の新生児訪問の際に、精神面での支援を心がけ、必要に応じて継続訪問し不安軽減に努めている。

産後うつに関しては、生活等で心配な方は退院後病院から連絡が入った場合は、保健師が訪問し、医療機関との連携を図り支援を取り組んでいる。3歳から入学前までの間の健診の必要性については、

3歳児健診は子供の発育、発達を確認する最後の健診となるため、その後の発達障害の確認が必要な場合は、個別相談で対応している。

集団生活の中で新たに心配なことが出てきた場合にも、保健師による個別の対応等を行っている現行の相談体制を、更に関係者とともに充実させていく。

答弁▼平成28年度末での修繕費等は1億9500万円に上っている。

質問▼当初設計に問題があつたのではないかと考えるが、それは今後の反省材料として、これから対策をしっかりともらいたい。対策について問う。

答弁▼水産系廃棄物以外は安定しているので、水産系廃棄物の破碎施設を港近くに建設し、廃棄物を破碎し水切りし堆肥センターに運び入れ、処理量を調整し円滑な堆肥化への環境を整えたい。



最盛期には悪臭が問題となる西浜町の廃棄物仮置場

質問▼西浜町の水産系廃棄物仮置き場の悪臭が住民生活を脅かしている。破碎施設はいつ完成し、時仮置場はどうなるのか問う。

●その他の質問
新総合計画策定におけるソフト面の考え方について

答弁▼破碎施設は平成30年度中に完成させたい。仮置場は破碎施設の廃棄物受入量を上回ることがあれば活用したい。

質問▼公園内の樹木についても同

答弁▼街路樹の管理については、日常のパトロールの中で確認を行い、倒木のおそれがある樹木については伐採等の対応をしていく。

質問▼近年の異常気象による強風災害対策の中で、倒木のおそれのある街路樹の管理状況について問う。

質問▼障がいや難病を抱えた人が必要な支援を予め記しておき、緊急時や災害時など困った際に提示して周囲の人々に配慮や手助けをお願いしやすくする「ヘルプカード」を普及する考えはないか問う。

答弁▼本市では市民からの要望はないが、支援を要する方が地域で暮らす中で、思わず困りごとが生じることも考えられる。全国的な普及状況を見守つていく。



東京都で発行しているヘルプカード

答弁▼表彰基準には様々な考え方があるので、市民意見を伺い条例や規則の見直しに取り組んでいく。

質問▼様々な市民団体の中には、地道にコツコツと活動され、まちづくりに貢献されている市民が多くおられる。表彰条例等を見直し、この方々に感謝の意をお伝えすることは、市民活動の励みとなると考えるが、対応を問う。



核となる市民活動センター

答弁▼公園内を定期的に巡回し、倒木のおそれがある樹木の早期発見に努め、速やかに対処している。

近年、異常気象による強風により、公園内の倒木が増加していることから、今後は、さらに巡回体制を強化していく。

答弁▼市民団体の把握と活動状況を調査し、団体の情報発信や立ち上げ支援をしていく。具体的な内容は時間をかけて検討していく。

答弁▼新たなコミュニティ創出事業がスタートし、若い二人の活動支援員が精力的に活動されている。この事業は、市民が生き生きと暮らし、まちの活性化に寄与するものと期待する。今後の事業内容と目指す青写真を問う。



公明党
原見正信



青雲洞口雅章

墓地の整備事業について。現代社会が抱える少子高齢化問題や地方過疎化の著しい進行などで墓を守る人がいない「無縁墓」の増加が墓地管理上、問題となっている。当市の対応策を問う。

答弁 現在、公営墓地の数は大滝区を含め13ヶ所。その利用状況は山下墓地、弄月墓地の新規使用を止めており、市街中央の墓地については伊達市霊園に集約化するようしている。当市で管理する墓地の使用区画数は約4800件で継承者不明の無縁墓については、無縁化の判断が難しいことから正確な数の把握までには至っていない。

しかし、墓地管理上、使用者の現状を把握することが重要であるとの認識のもと、10年以上新たな改葬や使用権移転など、届出がない墓地使用者を対象に、現況調査や戸籍確認など正確な実態把握に努めている。



伊達市霊園

質問▼墓地の整備事業について。現代社会が抱える少子高齢化問題や地方過疎化の著しい進行などで墓を守る人がいない「無縁墓」の増加が墓地管理上、問題となつ

答弁 ふるさと納税は交流人口の増加や地場産品のPRなど地域の活性化に有効な取り組みと考えており7月から受付を開始の予定。

質問▼ふるさと納税について。本市のふるさと納税の政策的位置づけと今後の取り組みについて問う。



自民クラブ
堀 博志



監査報告

○例月出納検査は、

平成29年3月27日(月)
平成29年5月24日(火)
に行いました。



監査委員

パート
1



議会運営委員会意見書



第2回定例会にあたり、議会運営委員会を6月9日に日程と議案及び一般質問通告の確認を行い、また6月20日には意見書の取り扱いについて審査を行った。

各団体から提出された意見書は7件で、審査の結果、国に提出することとなつた意見書は、以下のとおり5件となつた。

※各意見書の内容については伊達市議会HPをご覧ください。



《意見書》

結果	件名	提出者	自民クラブ	新政クラブ	市民クラブ	公明党	青雲
○	平成29年度北海道最低賃金改正等に関する意見書		○	○	○	○	○
○	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子供の貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書	連合北海道伊達地区連合会 会長 佐野真三	○	○	○	○	×
○	地方財政の充実・強化を求める意見書		○	○	○	○	○
○	学校給食の拡充・無料化を求める意見書		○	○	○	○	○
×	核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書	日本共産党伊達市委員会 委員長 吉野英雄	○	×	×	×	○
×	オスプレイ飛行訓練の中止等を求める意見書		×	×	×	×	○
○	ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書	公明党伊達支部 支部長 原見正信	○	○	○	○	×